

みずほ証券 会社案内

Corporate Profile

2023-2024

ともに挑む。ともに実る。

MIZUHO

お客さまと 「ともに挑む。ともに実る。」

平素は、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

このたび、〈みずほ〉は企業理念を見直しました。

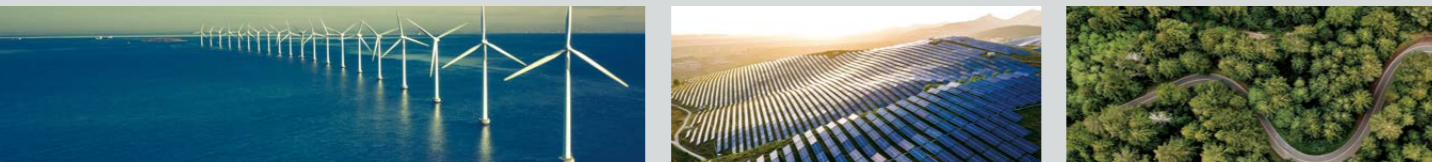
みずほ証券も新たな企業理念の下、お客さまとともに、価値の共創に挑戦し、豊かな実りをめざします。企業や投資家、そして社員を含めたすべてのステークホルダーの皆さまとともに、課題に挑戦し、豊かな社会、実り多きウェルビーイングをめざしてまいります。

資産所得倍増に向け、お客さまとともに挑戦します。お客さま本位の業務運営を中心に据えながら、一人ひとりのお客さまに寄り添い、人生100年時代の安心と幸せな未来に向け、お手伝いさせていただきます。総合資産コンサルティング力を弛まず向上させながら、それぞれのお客さまが描くライフプランに応じたふさわしいサービスを提供いたします。新たに生まれ変わるNISAについてもグループ一体となって取り組み、日本における「貯蓄から投資」の流れを加速させるべく、貢献してまいります。

サステナビリティ、DX、経済安全保障を意識したサプライチェーン改革など、様々な課題に直面されているお客さまとエンゲージメントを深めていくながら、ともに解決に向けた道筋を創造していきます。ともに考え、悩みながら、グループ・国内外の豊富な顧客基盤や投資家ネットワークを活かして、質の高いソリューションを提供いたします。足元でグローバル市場の視界は不透明感を増しています。みずほ証券は、変化の予兆やリスクに目配りしながら、お客さまの声やニーズをしっかりと受け止め、プロフェッショナルとして“新たな解の創造”にも、ともに挑戦します。そして何より主体的な誠意、情熱、創意工夫をもって、社員一同、お客さまに寄り添い、持続的成長に向け、ともに歩んでまいります。

2023年度は「お客さま本位」の徹底、〈みずほ〉エッジを活かした「差別化と競争優位の確立」、 「グループ全体を牽引する成長機会の探求」、この3点を軸にビジネスを前進させていきます。現場・社員目線の尊重、ガバナンス統制機能の強化、業務運営の効率化にもしっかりと取り組んでまいります。お客さまをはじめとする、すべてのステークホルダーの皆さまと、ともに挑み、ともに実ることで、お客さま・市場・社会から最も信頼され必要とされる証券会社をめざします。皆さまにおかれましては、今後も一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

みずほ証券株式会社 取締役社長 **浜本 吉郎**

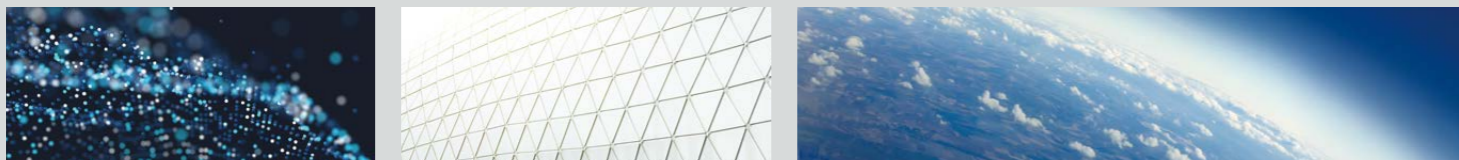


みずほ証券のフィデューシャリー・デューティーの実践に向けた 取り組みについて ~お客さま本位の業務運営の徹底~

みずほ証券は、〈みずほ〉の一員として、グループが定める「〈みずほ〉の企業理念」を採択しています。「〈みずほ〉の企業理念」においては、「ともに挑む。ともに実る。」をパーパスとして定めるとともに、パーパスを実現するための価値観・行動軸（バリュー）の中で、「お客さまの立場で考え、誠心誠意行動する」と定めています。すべての役員と社員がその価値観・行動軸を

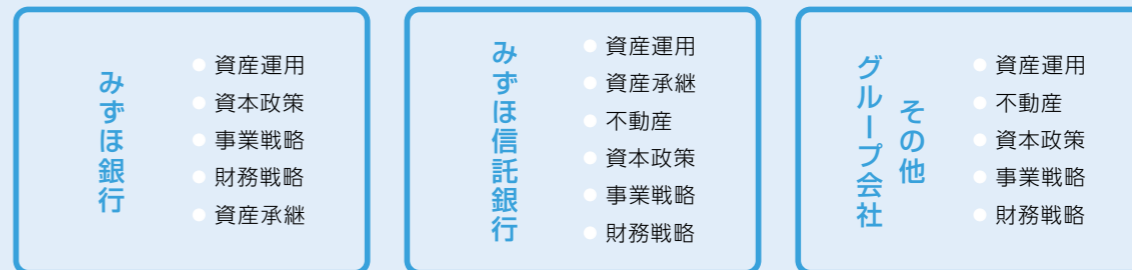
共有することとしており、当社をはじめとするグループ各社は、幅広い金融サービスを持つエキスパート集団として、フィデューシャリー・デューティー*（お客さま本位の業務運営）を全うすべく、お客さまの多様なニーズへの的確な対応や、最高水準のソリューションを提供する取り組みを行っています。

* 他者の信託に応えるべく一定の任務を遂行する者が負うべき幅広い様々な役割・責任の総称



私たちみずほ証券はみずほフィナンシャルグループの一員として、各社と連携したワンストップの高度なサービスを提供することで、皆さまに高い評価をいただいています。常にマーケットに受け入れられる商品開発や、国内外を問わずお客さまの幅広い金融ニーズへの確かつスピーディにお応えすることで、お客さまや経済・社会の豊かな未来につなげてまいります。

Mizuho Financial Group みずほフィナンシャルグループ



社会構造・経済環境が大きく変容する中、お客さまの不安や経営課題の解決に向けて
グループ各社と連携した高度な金融サービスを提供



Mizuho Securities business overview

みずほ証券のビジネスについて



総合資産コンサルティングを通じて、お客さまの最善の利益を追求します

国内リテールビジネス

- お客さまの人生全体を俯瞰した質の高い総合資産コンサルティング
- 銀信証連携による多様なニーズへの対応力
- 業界トップの国内店舗ネットワークを活かした、お客さまへのきめ細かなサービス対応力

みずほ証券のプレゼンス (2022年度)

リテール

投資運用資産の増加

8年連続 1兆円超

2.3兆円

資産導入は8年連続で1兆円超え、累計額16兆円超えとなっています。

株式型投信純増 1,900億円 / 4年連続 1,000億円超

豊富な投資信託ラインアップからお客さまのニーズに合わせて最適な商品を提供してまいります。

預かり資産残高

28.9兆円 → 45.4兆円

(2017年3月末) (2023年3月末)

フィデューシャリー・デューティーの実践を通じ、お客さまの中長期的な金融資産の増大を実現しています。



先進的かつ最高水準の投資銀行サービスを提供します

グローバル投資銀行ビジネス

- インダストリーグループの専門性・知見、グローバルなセクター連携を通じた高度な提案力
- DCM*1での圧倒的存在感を起点としたESG/SDGsの先行的取り組み
- イノベーション企業に対し成長に寄り添ったバリューチェーンでのソリューション提供力
- 米州CIBモデル*2をはじめとした強固なグローバル銀証連携体制

*1: Debt Capital Market (債券引受)
*2: Corporate & Investment Banking
銀行・証券・プライマリー (Banking)、セカンダリー (Markets) を一体運営するビジネスモデル



お客さまの多様なニーズにお応えする運用商品・サービスを提供します

グローバルマーケットビジネス

- 多様な投資家ニーズに対応する商品力・プライスカ
- 銀証一体でのデリバティブビジネスの展開
- 国内外の投資家・発行体ニーズをつなぐソリューションの提供

ホールセール

国内公募債総合

1位

市場環境や発行体・投資家のニーズに対応した提案力により、業界No.1の引受額と評価を獲得しています。

SDGs債 SA獲得件数 (ストラクチャリングエージェント)

1位

マーケットの潮流に合わせた先進的・波及的な案件ストラクチャリングで、3年連続1位の実績を誇ります。

総合ABS主幹事

1位

日本の証券化市場におけるフロントランナーであり、高い実績と評価を獲得しています。

M&A金額

5位

国内外のM&A案件におけるアドバイザーサービス提供において、トップクラスの実績を有します。

内外エクイティ総合

4位

卓越した業界知見、最先端の案件組成能力、グローバルに強力なセールス体制を背景にトップクラスの引受実績を誇ります。

IPO主幹事件数

2位

ミドルキャップ/イノベーション企業の成長をサポートし、主幹事件数は業界トップクラスの実績を誇ります。

米国IG USD債

7位

銀証連携体制の強みを活かし、米国DCMにおいてもトップクラスの実績を獲得しています。

国内リテールビジネス

必要なときに必要な形でお客様の人生や事業活動に伴走し、〈みずほ〉でしか得られない価値体験を提供していくことをめざし、個人および法人のお客様それぞれに対し、専門的かつ高度な金融サービスを提供しています。

また、多様化するお客様のニーズにお応えるため、業界トップの店舗ネットワーク、コールセンター、インターネット（みずほ証券ネット倶楽部）のチャネルもご用意しています。



〈みずほ〉の総合資産コンサルティング

リテール・事業法人部門は、フィデューシャリー・デューティー^{*1}の実践を通じ、お客様一人ひとりの夢や想い、目標等のゴールに寄り添い、お客様のニーズを正しく理解し、その実現に向けた最適な商品・サービスを的確にご提供していくことを通じて、お客様の中長期的な資産形成をサポートします。

また、お客様が安心してお取引を継続いただけるよう、相場・市場動向の変化やお客様の状況に応じて、長期的な視点にも配慮した丁寧なアフターフォローも実施しています。

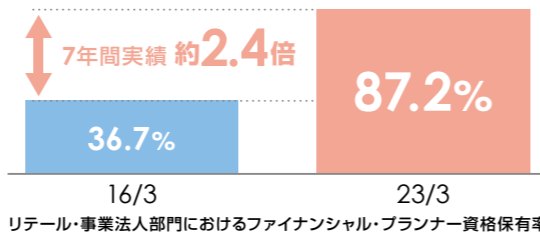
^{*1} フィデューシャリー・デューティー：金融商品の販売、資産管理、運用等を行うすべての金融機関等が負う責務として、お客様の最善の利益を図るよう誠実・公正に業務運営を行うこと。

Pick Up

ファイナンシャル・プランナー資格保有者

コンサルティング力の更なる向上のため、ファイナンシャル・プランナー資格取得支援をはじめとする、各種施策にも注力しています。

ファイナンシャル・プランナー資格は、リテール・事業法人部門所属社員の約9割が保有しています。



R&I「顧客本位の投信販売会社評価」において「S+」評価を取得

投資信託販売に関する顧客の最善の利益を追求した販売運営・取組状況が評価され、R&I「顧客本位の投信販売会社評価」において業界最高評価の「S+」評価を3年連続で取得しました。



2022年度「CRMベストプラクティス賞」を受賞(6年連続受賞)

顧客中心主義経営の実現をめざし、戦略・オペレーション・組織の観点からお客様との関係を構築し、その成果を上げている企業・官公庁・団体を表彰する「CRMベストプラクティス賞」を6年連続で受賞しました。



グローバル投資銀行ビジネス

グローバル投資銀行部門は、お客様の窓口となるカバレッジ組織と、専門性の高いソリューションを提供するプロダクト組織から構成されており、資本市場を活用した債券、株式による資金調達や、経営戦略に関わるM&Aアドバイザー等の投資銀行サービスをグローバルに提供します。高度化・多様化するお客様ニーズに対して、事業戦略や財務戦略への深い理解と産業・業界に対する知見、投資銀行ビジネスの高い専門性を結集・発揮し、オーダーメイドでソリューションを提供することで、お客様との戦略的パートナーシップを構築してまいります。



主要リーグテーブル

| 順位 | 会社名 | 引受金額(億円) | シェア(%) |
|----|-------------------|----------|--------|
| 1位 | みずほ証券 | 40,539 | 24.6 |
| 2位 | 野村證券 | 36,982 | 22.5 |
| 3位 | 大和証券 | 35,067 | 21.3 |
| 4位 | 三菱UFJモルガン・スタンレー証券 | 24,512 | 14.9 |
| 5位 | SMBC日興証券 | 13,015 | 7.9 |

引受金額ベース、条件決定日ベース 普通社債、投資法人債、財投機関債、地方債(主幹事方式)、サムライ債、優先出資証券を含み、自社債を除く(出所)リフィニティブの情報を基に、みずほ証券にて作成

| 順位 | 会社名 | 件数 | 取引金額(億円) |
|----|-----------------|-----|----------|
| 1位 | 三井住友フィナンシャルグループ | 124 | 44,892 |
| 2位 | 野村證券 | 82 | 44,799 |
| 3位 | JPモルガン | 16 | 39,329 |
| 4位 | UBS | 14 | 39,169 |
| 5位 | みずほフィナンシャルグループ | 117 | 34,723 |

取引金額ベース、日本企業関連、不動産案件除く(出所)リフィニティブの情報を基に、みずほ証券にて作成

| 順位 | 会社名 | 引受金額(億円) | シェア(%) |
|----|-------------------|----------|--------|
| 1位 | 野村ホールディングス | 6,018 | 24.9 |
| 2位 | 大和証券グループ本社 | 4,149 | 17.1 |
| 3位 | 三菱UFJフィナンシャル・グループ | 4,080 | 16.9 |
| 4位 | みずほフィナンシャルグループ | 3,019 | 12.5 |
| 5位 | ゴールドマン・サックス証券 | 2,433 | 10.1 |

引受金額ベース、条件決定日ベース 新規公開株式、既公開株式、転換社債型新株予約権付社債の合算(REIT含む)(出所)リフィニティブの情報を基に、みずほ証券にて作成

| 順位 | 会社名 | 件数 | 取引金額(億円) |
|----|-------------------|-----|----------|
| 1位 | みずほフィナンシャルグループ | 159 | 11,467 |
| 2位 | 三菱UFJフィナンシャル・グループ | 32 | 4,882 |
| 3位 | 三井住友トラスト・ホールディングス | 35 | 3,933 |
| 4位 | 大和証券グループ本社 | 13 | 3,541 |
| 5位 | モルガン・スタンレー | 11 | 3,126 |

取引金額ベース、払込日ベース(出所)リフィニティブの情報を基に、みずほ証券にて作成

グローバルマーケットビジネス／リサーチ(投資情報の提供)

グローバルマーケット部門では、機関投資家、金融法人、事業法人など国内外のお客様に対し、国内外の公社債や株式をはじめ、仕組債、証券化商品、デリバティブなど、多様な運用商品・サービスを提供しています。

リサーチにおいては、専門性の高いアナリスト、エコノミスト、ストラテジスト陣による充実した体制で、内外業界動向、上場企業、内外景気、金利、為替、クレジット、ESG等について様々な角度から調査・分析・評価をしています。これらの結果は、各種レポートやセミナー・イベント、メディア等を通じて、投資家の皆さまへお届けしています。

Pick Up

2位

日経ヴェリタス
「第35回 人気アナリスト調査」会社別順位

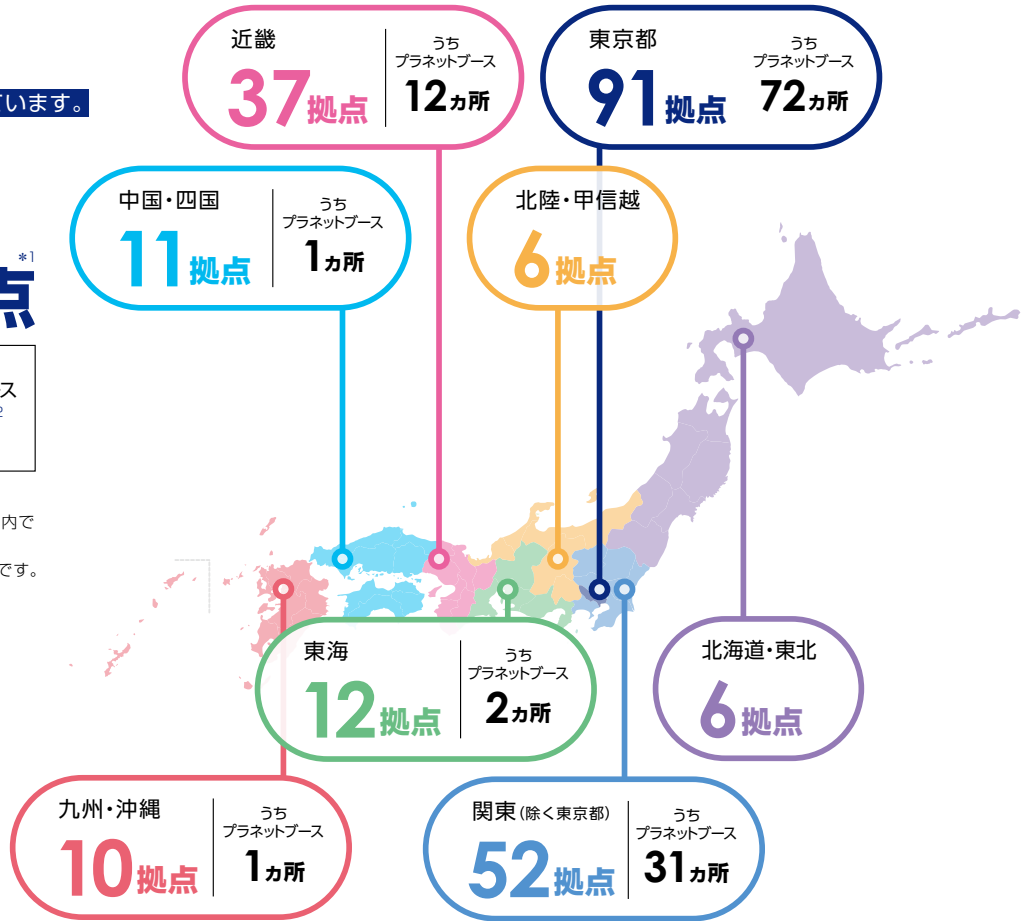
3位

日経ヴェリタス
「第28回 債券・為替アナリストエコノミスト人気調査」会社・グループ別順位

業界トップの225拠点の
国内ネットワークを活かし、
全国のお客さまに
きめ細かなサービスを提供しています。

国内拠点
225拠点^{*1}
うち
102支店
うち
プラネットブース^{*2}
119

*1 本支社3、営業所1を含みます。
*2 プラネットブースは、みずほ銀行ロビー内でフルラインの証券サービスをご利用いただける、みずほ銀行との共同店舗です。



(2023年6月30日現在)

| | |
|--------------|--|
| 商号 | みずほ証券株式会社(英文社名:Mizuho Securities Co., Ltd.) |
| 本社所在地 | 〒100-0004 東京都千代田区大手町1-5-1 大手町ファーストスクエア 電話:03-5208-3210(代表) |
| 設立 | 1917年7月 |
| 代表者 | 取締役社長 浜本 吉郎 |
| 主な事業 | 金融商品取引業 |
| 金融商品取引業者登録番号 | 関東財務局長(金商)第94号 |
| 資本金 | 125,167百万円 |
| 従業員数 | 7,057人 |
| 国内外ネットワーク | 国内225拠点 海外19拠点 |
| 加入取引所等 | 東京証券取引所、大阪取引所、名古屋証券取引所、福岡証券取引所、札幌証券取引所、東京金融取引所 |
| 加入協会 | 日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会、一般社団法人日本STO協会 |

(2023年6月30日現在)

みずほ証券は 東京ディズニーランド®の オフィシャルスポンサーです

みずほ証券は、“夢と魔法の王国”東京ディズニーランドの「魅惑のチキルーム：スティッチ・プレゼンツ“アロハ・エ・コモマイ!”」を提供しています。

私たちは、お客さまに常に選ばれるサービスを提供し、社会の発展に貢献することによって、みなさまの夢を応援してまいります。



© Disney



Tokyo Disneyland®

2023年7月



バイオマス
使用部位：印刷インキ
No.100013



FSC
www.fsc.org
ミックス
紙
FSC® C012860